

平成 29 年 7 月
第 372 号



木灯籠の復活！(公民館前)



おもな内容

- ・『ふれあいサロン』開催 … P2
- ・「うちわ展」と「絵がすり」 … P3
- ・大湫病院「納涼祭」 … P4
- ・転入,丸森だより … P5

健康講話「薬の話」6/10 (土)

ふれあいサロンより

「健康講話」を開催



6月10日(土)『ふれあいサロン』が東濃厚生病院の協力を得て開かれました。町外からの聴講者もあって約70名という予想外の盛況となりました。

テーマは「薬の話」で講師は薬局長丸山康典氏。

薬の種類、薬の利き方等について色々と解説がありました。よくやるのが薬の飲み忘れです。思い出し遅れて飲み、さらに次の定時に飲むという方法です。しかし、この方法は薬の血中濃度が高くなり過ぎて危険な飲み方であるということでした。



続いて、院長塚本英人氏による「健康寿命と地域医療について」の話がありました。健康寿命を損う原因として、高血圧症・糖尿病・老衰による運動不足・認知症など。話を聞いてそれらの病名が身近なものになってきました。さらには介護に至る原因とし脳血管疾患・認知症・転倒による骨折などがある。

大湫は高齢化が一段と進んでいるが、多くの方が健康であるのは老人が何等かの仕事（畑仕事等）を持っており、他地域から見習うべきだと声が挙がっているとの事です。

「最後の十年を最高の十年に・・・」ということを目指にしていけば、いい人生が送れそうである。

最後に講師の先生方、残念ながら時間切れになってしまった梅村奈美子

看護師長さんありがとうございました。

いました。



「うちわ展—銀幕を飾った女優—」と「絵がすり」展

「わー、懐かしい」「この人、私と同年なんよー」との声。公民館と丸森邸でおこなわれた「うちわ展」にお出でいただいた方たちの間で、こんな会話が飛び交いました。丸森では「絵がすり」も同時に展示しましたが、建物の雰囲気ピッタリ。訪れた外国の方々に、緋の模様にある鶴や松、竹を「めでたい絵柄で、子どもの幸せを願って作ったもの」と、施設長が説明。布地を手にとって見入る姿は、日本文化に文字通り触れていただけたようです。

今回の展示は、「中日新聞」「岐阜新聞」などにも取り上げられました。記事を見て来ました、という方も少なくはありませんでした。

「ツアー企画に参加して、こちらに来ました。偶然この企画に出会えて…」



といわれた方もありました。中にはこんな方も。「小学校3年まで大

湫小学校に通ったんです。取り壊されると聞いたから、ついでに学校も見ておこうと思って…」。

展示期間に来館いただいた方は、町内の方も含め400名を超えます。展示に協力していただいた高橋ご夫妻も、「懐かしい友に再会するキッカケとなった」と。今回の展示が人の輪を少し広げたようです。奇遇や新たな縁が生まれたことも。



今回は「丸森」と「公民館」の共同企画で2週間の展示。多くの皆さまの協力なくしてはできませんでした。ありがとうございました。

丸森施設長 玉置憲政、公民館長 長谷川明

今年の納涼祭は

大湫病院 瀬瀬富久

今年も恒例の大湫病院納涼祭を7月22日（土）に開催します（雨天24日）。今年は来場者の皆様に、当院オリジナルのうちわを作成して配布することにしました。それで、デザインを納涼祭に相応しい「夏を感じる一枚」と題して、カメラ愛好者の職員の方々に、とっておきの写真を持ち寄っていただきました。どれも甲乙つけがたく、職員食堂に掲示して全職員200名程の投票で選びました。どのような、夏を感じるうちわが出来上がったのでしょうか、お楽しみにしてご来場してください。

そして、「広報大湫」7月号と一緒に配布していただきました納涼祭のチラシですが、10年ぶりにリニューアルしました。いかがでしょうか。写真は小栗和茂さん（神田区在住）が、過去に撮影した納涼祭から選びました。

「集まろう会大湫太鼓クラブ」のメンバーが力強く演奏（平成25年撮影）する姿を背景に、写真をできるだけ多く使用して、インパクトのあるチラシが出来上がりました。入院者のご家族さまや保健医療機関などにも配布して、とても好評をいただいています。

昨年、新たなコーナーを開設しました。認知症を身近な病気として知っていただくために、当院の認知症疾患医療センターが「物忘れセルフチェックコーナー」を設けました。順番待ちの列ができるほど多くの方々に体験していただきました。認知症について気になること、聞いてみたいことなどがあれば気軽にお声かけください。病気は早期発見、早期治療がとても大切です。

さて、一番気になるのが天気です。真夏の青空の下で開催できるように祈っています。どうぞ、多数の皆様にご来場していただき、思い出に残る納涼祭にしたいと思っています。よろしく願いいたします。



ようこそ大湫へ

4年前に大湫の町と出会い、この度6月1

日から永住することになりました。

夫婦揃ってスタートができる事に感謝し、楽しい人生にしていきたいと思っています。

皆さん、よろしくお願ひします。

須山 秀樹
教子



丸森だよ

こんにちは、丸森便です。今年の1月5日にオープンしてから、も早や半年が過ぎようとしております。見学に来ていただいた方は、3,000人を超えています。寒かった森川邸も今では裏田からの風が吹き抜けて、十三峠を登ってこられた旅人が涼をとる休憩場所として利用されるようになってきました。皆さん土間のタタキが珍しく感触を楽しんだり、小さい時こんな土間だったと懐かしく語っておられ、とても楽しい一時となります。

6月11日まで展示されていた絵拵と団扇展も終了して、今は『紫陽花の花』展示をしておりますが、今年は花の咲くのが遅くなっております。皆様のお宅に自慢の花、めずらしい花がありましたらぜひ丸森のスタッフに一声お願ひ致します。もちろん持参して下さいても大歓迎です。又、こんな企画がいいよとか、アイデアがありましたらどうぞお知らせ下さい。皆さん気軽に遊びに来て下さい、お待ちしております。



高島貞子

いきもの語り（1）



タンポポの戦略

先日、オオキンケイギクは環境省が定めた特定外来生物（植物）であり、「駆除にご協力ください」とのチラシが回覧されて来ました。外来生物は天敵が少ないことなどの理由からよく増え、ここ大湫町の農免道路沿いでも見られ、花が咲き始めました。キバナコスモスに似た黄色い花。

タンポポは、このオオキンケイギクと同じファミリー。5月の中旬ともなると、めっきり花も少なくなり綿毛が目立ちます。梅雨に入る前の乾燥したこの時期、フワフワの綿毛は風に吹かれてずいぶん遠くまで飛んでいきます。そしてこの綿毛にはタネが付いています。

遠くに飛ばした方がより広い範囲に自分の子どもを増やすことができますし、子どもは親より良い環境に行き着くかもしれないのです。その心はいわば母（親）心。

綿毛となるまでには、十分な用意と準備があります。花が咲き終わった後、タンポポはそれまで起立していた茎を寝かせてタネが充実するのを待ちます。しばらくすると花の時よりも高く立ち上がるのです。少しでも高ければ風も受やすく、タネの広がりも期待できます。冠毛（かんもう-綿毛の部分）とタネのバランスも大切。タネが重いと飛べません。タネに養分が蓄えられていれば、芽を出すまで安心ですが、重くなります。

タネが飛び立つ絶好な日和、それは晴れて空気が乾燥し、風のある日。遠くへ飛び立つ綿毛を見送ってやりませんか。

長谷川 明

速報

木灯籠の復活

「大湫宿整備事業」にて造られた灯籠の傷みが激しく、片隅に置かれていましたが、この度見事に修復され再び大湫公民館前に「表札塔」として設置していただきました。

宿内のシンボルに！



「瑞浪土人形」の寄贈を受けました

高橋直勝・信子ご夫妻から「土人形」の寄贈を受けました。ご夫妻（中津川在住、赤岩さんのご親戚）は、「うちわ展—銀幕を飾った女優—」（5/27～6/11）のうちわと「絵がすり（同時開催）」のコレクター。

土人形は明治時代後半から大正時代にかけて各地で盛んに作られました。今回寄贈の人形は、瑞浪人形（土岐郡 土岐村 市原で作られていたので市原土人形とも呼ばれる）。

皆さまに人形がお目見えするのは、来年の3月、お雛様の展示でとなります。



青少年育成町民会議 6/13(火)

平成29年度青少年育成会議が開催されました。少子高齢化が進む大湫ですが、地域貢献を積極的に取り組む中学生を中心に小学生にも地域で活躍できる場として「集まろう会やみんなの農園」を中心に『みとめて・ほめて・はげまして』を合言葉に青少年の健全育成に努める事を確認しました。

今年の夏も盛り上げよう！

○大湫病院「納涼祭」

集まろう会大湫太鼓が出演します。詳しくはチラシを！



○盆踊り練習

日時：8/2(水)・8/9(水)
午後7時30分～
場所：大湫公民館

○大湫町夏祭り

日時：8月12日(土)
午後6時から
場所：旧大湫小グラウンド

国道19号「中大島交差点」(釜戸小下)通常信号機に変更

点滅式の押しボタン信号機が、平成29年度中に通常信号機に変更されることになりました。

*詳しくは回覧するチラシをみてください。

安全運転に
心がけてく
ださいネ！

引き渡し訓練について

小中学校支部長 板橋

五月初旬、小中合同緊急時引渡訓練が行われました。大湫の子供達は町からの支援でタクシーを利用させていただいていますが、今回は訓練という事で他地域の保護者と同じ様に参加しました。

中学校は、引き取り人登録があり、引き取りカードを見せて引き取り者と生徒の確認をします。緊急時でも不審者対策がされています。国道渋滞を生じさせない為のルールや引き渡しは、ドライブスルー方式などの工夫もされています。訓練当日は、警察・交通安全協会の方々の協力



地域懇談会 =市長と語る会=

日時：7月13日（木）

19時から20時30分

場所：大湫公民館 講堂

町民の皆様、ご参加お願いします

もありました。その中、一つ残念なのは、国道から学校へ進入する時のルールが守られていない方がいた事です。「訓練で出来ない事は、実際の場でも出来ない。」緊急時は二次災害の危険もあります。他の人の行動を見て考えさせられる訓練でした。

大湫宿の樹木調査始まる 6/10(土)

自然保全委員会の皆さんが、白山神社「大杉の切り株跡」と「イチヨウの木」の調査をしました。白山神社の大杉は、昭和22年旧大湫中学校の建設のため伐採。また、イチヨウの木は全国的に珍しい「オハツキイチヨウ」です。

調査結果が待ち遠しいですね・・・！



『医・食・同源』

昔から「不老長寿」は人間の永遠の願望だった。「鶴は千年、亀は万年」と長寿の動物としてあやかりたいと、引き合いに出された。実のところは、鶴は五十年、亀は百五十年ぐらい。ほ乳類では象が七十年といわれている。それに対して人間の平均寿命は、男は八十一歳、女は八十六歳で動物の中では最も長命の動物になった。

今から三百年前の江戸時代に、「貝原益軒」という医者が、八十四歳の時、「養生訓」を書いて評判になった。当時の八十四歳といえは今では百歳を超えている。その頃、薬といえは山野に自生する植物を利用するか、朝鮮人参や動物の臓器を使った物が、高貴薬として使われていた。子供の死亡率は高かったが、それでも人生五十年とい

われ、医学は進歩していなかったが、生まれながらに身についた自然治癒力で生きて来た。

それに比べて現代は高度な医療施設を整えた病院が各所にあり、薬も日進月歩で新薬が使われている。そのお陰で平均寿命は八十歳を超えて、限りなく百歳に近づいている。だが、病院や薬のお陰で生きているのでは、幸福な人生とは言えず、苦痛に耐えて生きている人が多い。

昨今、医師の書いた本が評判になっている。「医学の常識はウソだらけ」とか、挙げ句の果ては「病院で殺される」と、ショッキンクな本まで出版されている。また、「薬」の飲み過ぎを警告する医師も多い。

ストレスの多い現代、如何に精巧につくられた人間でも健康に生きることは難しい。機械と同じ様に悪くなっ

た人体を、取り換える技術も進んでいる。「不老・長寿」の夢が叶えられる時代がもうすぐそこまで来ている。

「医・食・同源」を奨めた貝原益軒の養生訓は、昔話に終わってしまっただろう。人間が機械のように医学に頼り、薬を飲んで生きるのが当たり前になったしまつては、折角百二十歳までは生きられると言われて来た人体も機械と同じようになってしまう。

毎日農薬まみれの食品を食べ、体調が悪くなれば薬を飲む、現代の「養生訓」には疑問を感じる。

天野長三郎



六月の俳句

天野辰代

涙目を拭きて写経や夏の安居げあんご

老の部屋香り仄ほのかな朴葉ずし

梅の香や病みし娘へ書く長手紙

山口雪子

嬰兒みどりごの摺つかまり立ちて夏きたる

自転車のペダル立ち漕こぎ風薫る

一山の葉裏を返す青嵐

皆さん、利用し
てくださいね

デマンド交通

利用者

(大湫～日吉東部)

5月

31便

延べ49名

デマンド交通について
のお話もありますよ…!

リ・アップ“ひよも”だより

7月のお茶のみ会のおさそい

日時： 7月5日(水曜日) 9:30～11:00頃まで

場所： ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

報告

景観まちづくり(打合せ) 会議開催(6月15日)

名古屋工業大学名誉教授の松本直司先生や岐阜工業高等専門学校建築学科准教授の櫻木耕史先生等をお招きして、大湫町(宿)のこれからの整備・景観保全などの方向性について話し合いました。

景観重要建造物や樹木の指定、空き家対策など問題が山積みです。町全体の問題として町民の皆さんとも話し合っていきたいのでよろしくお願いします。



やっと
できた

「高齢者交通安全教室」

昨年七月に、故水野和昭様（交通安全協会 釜大支部長）によつて「高齢者交通安全教室」が計画されていましたが、体調をくずされ開催できませんでした。今回区長会長に相談し、手続きの仕方を教えていただき開催（六月七日）することができました。

参加くださった方の感想

- 交通指導員の方の意気のあつた進め方が工夫してあり、とてもよかつた。
- 普段分かつていることだが、改めて分かることができた。
- D<Dの中味が面白おかしよく理解できた。
- 振り込み詐欺のD<Dも見せていただき、もしもの時は一人で決めたり、悩んだりせず相談することも改めて意識できた。



- みんなで一緒に笑つて見たり聞いたりでき、楽しい一時を過ごすことができよかつた。
- 関係機関の方々、ありがとうございました。安全な日々を過ごしたいと思います。

大湫公民館からのお知らせ

ご招待券あります（2名様）

- 『明治有田 超絶の美
万国博覧会の時代』

期間：7/1～8/27

会場：岐阜県現代陶芸美術館

ギャラリーⅡ

- 企画展

『化石になったキミヨ～な
深い海の生物たち』

会期：7/1～9/24

会場：瑞浪市化石博物館

*詳しくは大湫公民館まで。

木工教室開催します。

日時：8月6日（日）

午前9時～12時まで

場所：ふれあいセンター

いろり館にて

*詳しくは配布するチラシをみて下さい。

「三人展(写真)」

7/2(日)～7/30(日)

場所：市地域交流センター「ときわ」

小栗和茂氏が、今年も大湫病院職員の方3人で写真展を開催されます。ぜひ、観に行ってください。



H.29

7月の集まるう会

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まるう会

今月は 7/17 (月) 背みの作りをします
(山びこどんとの共催です)

時間は9時からです。場所は西森川邸蔵座敷です。
※詳しくは別でチラシを配ります。

★今月の太鼓練習は

7/1 (土) と 7/15 (土) です。

9時30分から大湫公民館講堂で
あります。はじめての方、ちびっ子も

遊びに来てね。★7/15は練習のあと
バターゴルフを予定しています。

★7/22 (土) 大湫病院 納涼祭に参加
します!! 19:40 ~ 19:50です。

みなさん見に来て下さい!!

★8月・9月の予定

8/6 (日) 木工教室です

(別にチラシを配ります。詳しくは
チラシを見て下さいね)

8/27 (日) 志多からコンサートを
予定しています。楽しみに待って
いて下さいね!

オオクテ・ツクルテに参加します!
9/23, 24の2日間(山びこどん共催)
です。お土産の方、出品作品大募集です

★6/17 (土)

きよみた瑞浪
5周年祭で
太鼓演奏
しました。

20名参加
しました。

釜戸の子も
大湫の子も
いっしょです!

ご協力、応援
ありがとうございます。



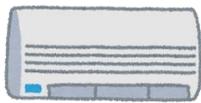
防災ラジオは正しく設置してありますか？

緊急速報や避難情報など、命を守る大切な情報を防災ラジオで皆さんにお伝えしています。しかし、正しく設置してないとお伝えできません。確認してください。

○アダプタをコンセントから抜いてませんか？緊急時にはコンセントから抜いてあっても電池が入っていれば繋がります。しかし、これでは電池の消耗が早くなり、肝心なときに役に立たない場合があります。電池は停電時の緊急用と考えて下さい。

エアコンの取扱いについて

お願い



ふれあいセンターのエアコンの消し忘れがありました。

皆様に快適に利用していただけるように『冷暖房機』を設置してありますが、使用された方は、責任をもって最後に点検をお願いします。

アンケートにご協力を！

只今、公民館では利用いただいております団体（個人）等に「アンケート」にお答えいただいております。

公民館で開催してほしい講座・教室や催し物について、何曜日のどの時間帯を希望するかなどお聞きしています。

お気づきの点などありましたら、いつでも公民館までご連絡ください。TEL：63-2360



ご協力、お願い
いたします



*大湫宿お休み処

7月の営業は2日(日)・9日(日)・16日(日)・17日(月)・23日(日)・30日(日)です。
皆様のお越しをお待ちしております。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL: 0572-63-2455

*おもだか屋『ほっか』

7月営業日 (原則)毎週金、土、日曜日

営業時間 AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



オススメ!大湫分室の本 「愛犬をケガや病気から守る本」

愛犬の友編集部:編

何気ないことが、大切な愛犬の身体
と心の健康に害を与えているかも!

日常のケアや正しい接し方など分か
りやすく解説しています。

青色回転灯防犯パトロール

7月のパトロール予定者



7/月上旬

玉置憲政
大内延男

7/月下旬

三輪勝彦
安藤則通

区長日記

恒例となりました社協による「ふれあいサロン」が、6月10日、ふれあいセンターで開催されました。東濃厚生病院の塚本院長をはじめ、薬局長・看護師長がそろって大湫町を訪れ、身近な「お薬の話」から最近の医療事情に至るまで、丁寧な説明をいただき、貴重な聴講の機会となりました。

健康寿命を延ばすという医療機関の大きなテーマを実践している町として、医療機関の責任者から評価頂いたことは、農作業や環境整備などのボランティア活動、更には喫茶「こぶし」「ひよも」などの談笑の機会への参加を通して、地域で築いてきたものの大切さを、再認識する機会となりました。

また、西森川家で行われた古民家の清掃活動には、金融機関の若手職員のほか水野市長をはじめとする市職員の皆さんも参加され、今後の町活性化の足掛かりとして大切にしていきたいと感じております。

6月15日には、松本名古屋工業大学名誉教授をはじめ

とする景観行政に関わる関係者が大湫宿を訪れ、「景観まちづくりの実践」について説明会が持たれました。

町所有となりました「米屋」の活用方策、市所有の新森邸の再整備、西森川家の古民家再生等、点の整備にとどまらず、中山道を含めた大湫宿更には町全体の整備の方向性を探る機会として、今後町民の皆さんとも話し合って行きたいと考えています。

町内の地域花壇は、長寿会の皆さんのお骨折りで、奇麗に整備されました。米国ケネディ大統領の名言ではありませんが、「地域が自分のために何をしてくれるかではなく、自分は地域のために何ができるか」を問うて、人生を紡いで行こうではありませんか。それが結果的には一人ひとりの幸せにも繋がるような気が致します。

足立 亘

9日 消防団自動車部操法大会壮行会

10日 社協「ふれあいサロン」・自然保全委員会

11日 消防団自動車部操法大会・交通安全協会総会

13日 青少年育成町民会議

15日 「みんなの農園」黒豆種蒔・景観打合せ会議

16日 美濃十七宿県研修会

18日 夏季奉仕作業

22日 中学校統合委員会

23日 景観打合せ会議

24日 夢づくり「花の森整備事業」・地域花壇整備

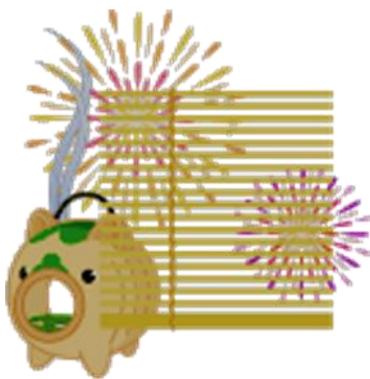
28日 夏祭り実行委員会

29日 連合自治会

6月2日 定例幹事会・区長会

4日 西森川家ワイワイプロジェクト

7日 リ・アップ「ひよも」交通安全教室



平成二十九年七月行事予定

日	曜	予	定
一	土	集まるう会（太鼓・他）	
二	日	釜大野球大会（大湫チーム）	
三	月	財産区全員会議 結核検診（足又公民館）	
五	水	リ・アップ「ひよも」	
七	金	定例区長・幹事会	
八	土	おしゃべりサロン	
一	火	結核検診（大湫コミ・神田公民館）	
二	水	からだづくり教室	
三	木	市長と語る会	
五	土	集まるう会（太鼓・他）	
一	七	*海の日／集まるう会（物作り）	
二	〇	小中学校一学期終業式	
二	二	おしゃべりサロン／大湫病院「納涼祭」集まるう会太鼓演奏	
二	九	土	広報委員会／釜戸夏祭り

今月の資源ごみ: 7/21(金) 不燃ごみ: 7/6(木)



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 平成29年7月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>